

北海道大学シラバス					
■ ■ 科目名					
健康と社会					
■ ■ 講義題目					
生殖・遺伝と倫理					
■ ■ 責任教員（所属）					
蝦名 康彦（大学院保健科学研究院）					
■ ■ 担当教員（所属）					
蝦名 康彦（大学院保健科学研究院）					
■ ■ 科目種別	全学教育科目(総合科目)			■ ■ 他学部履修等の可否	可
■ ■ 開講年度	2021	■ ■ 期間	2 学期	■ ■ 時間割番号	000360
■ ■ 授業形態	講義	■ ■ 単位数	2	■ ■ 対象年次	1～
■ ■ 対象学科・クラス	基礎1-53組			■ ■ 補足事項	
■ ■ ナンバリングコード	GEN_LIB 1110				
■ ■ 大分類コード	■ ■ 大分類名称				
GEN_LIB	全学教育（教養科目）				
■ ■ レベルコード	■ ■ レベル				
1	全学教育科目（語学上級科目、高年次対象科目を除く）				
■ ■ 中分類コード	■ ■ 中分類名称				
1	総合科目				
■ ■ 小分類コード	■ ■ 小分類名称				
1	健康と社会				
■ ■ 言語					
日本語で行う授業					
■ ■ 実務経験のある教員等による授業科目					
該当する					

## ■ ■ キーワード

女性ホルモン、エストロゲン、ライフサイクル、健康障害、メンタルヘルス、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

## ■ ■ 授業の目標

不妊症治療をはじめとする生殖補助医療は現在も進歩しており、また各分野におけるゲノム医療の発達は著しい。このようなヒト発生の根源ともいえる受精卵を操作したり、個人の遺伝情報を扱う医療においては、生命倫理の遵守が不可欠である。本授業では、まず臨床遺伝学を学ぶための基礎的事項の理解を深め、実際の臨床でどのように用いられているかを学ぶ。そして、いくつかのテーマに関する倫理的問題について、わが国の社会的背景を考えていく。

本授業では、これらの活動を通して受講生自身が生命倫理について考え、理解を深める行動するきっかけとする。

#### ■ 到達目標

1. ヒトのゲノム、染色体の成り立ちを理解し、細胞遺伝学・分子遺伝学の立場から説明できる。
2. 代表的な遺伝子関連検査・染色体検査とその原理を説明できる。
3. 代表的な遺伝性疾患の成り立ちについて説明できる。
4. 家系図の基本を理解し記載作成できる。
5. 生殖補助医療の方法と特徴、および倫理的問題点について説明できる。
6. 出生前診断の方法と特徴、および倫理的問題点について説明できる。

#### ■ 授業計画

1. 「ヒトのゲノム」を解剖する（染色体、ゲノムDNA、細胞分裂、遺伝子発現、転写・翻訳、エピジェネティクスとインプリンティング）
2. 「ヒトのゲノム」変化で起こる疾患（メンデルの法則、遺伝形式、家系図、家族性腫瘍）
3. 生殖補助医療と問題点（体外受精、顕微授精、高齢妊娠、流産率）
4. 出生前診断と問題点（エコー検査、羊水検査、着床前診断、NIPT）

#### ■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

トピックについての事前学習、授業後に小レポートの作成をします。テーマによっては、プレゼンテーション、ディスカッションのための準備が必要です。

#### ■ 成績評価の基準と方法

1. 出席状況（2/3以上の出席を成績評価の条件とする）。
  2. 課題に対するレポート、プレゼンテーションの発表内容等により総合的に評価する。
- 総合評価（秀：90点以上、優：80点台、良：70点台、可：60点台、不可：60点未満）

#### ■ 有する実務経験と授業への活用

本授業は、現役の産婦人科医師である担当教官が最新のエビデンスとともに30年余にわたる臨床経験をもとに行うものである。

#### ■ 他学部履修の条件

#### ■ テキスト・教科書

#### ■ 講義指定図書

[大学生のためのレポート・論文術 / 小笠原喜康 : 講談社現代新書, 2021, ISBN:9784065135020](#)

#### ■ 参照ホームページ

#### ■ 研究室のホームページ

<https://ebinalab.org/>

#### ■ 備考

全ての授業をオンラインのみで実施する。

■ ■ 更新日時

2021/02/25 08:26:49

